

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月21日更新

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ運営支援事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3 教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄
	施策	11 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	緒方 昇一郎
	施策の柱	40 スポーツの啓発と参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10825	根拠法令	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	「総合型地域スポーツクラブ」は、平成12年に県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つ作ることが目標に掲げられた。これを受け、旧西合志町では、平成15年4月に自主運営と地域における公益を目的とした地域に開かれた総合型地域スポーツクラブとして「クラブにしごうし」を設立。 平成18年の合併に伴う新市誕生を経て、クラブ設立から10年も経過していたため、平成27年度には名称を「クラブこうし」に改称。また、平成27年度には、会員数778名を数えたクラブであったが、平成28年度は熊本地震の影響もあり、年度末時点で606名に留まる等、活動場所となる施設都合により、活動を縮小することとなった。 平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルFUNクラブ」を設立。平成27年度会員数は665名だが、平成28年度は、熊本地震の影響もあり、活動拠点のヴィーブルと泉ヶ丘体育館が使用できず活動が殆ど行えていなかった。活動が大幅に縮小したが、市主催の体験教室でのケイトランボリン開催や別の施設での活動等を行った。 2つの総合型地域スポーツクラブともに、平成29～30年度において、ヴィーブルに代表される体育施設の復興とともに、活動も活発化しており、新規教室の立ち上げや会員数の増加が見られている。
【業務の流れ】	- 総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付→交付業務 ※クラブこうしのみ - 入会受付および会議等での業務補助 - ユーパレス弁天施設使用料支払業務 ※平成30年度はユーパレス弁天プール閉館に伴い、使用料補助を中止 - 施設の確保補助 - クラブ事務局運営相談対応
【主な予算費目】	使用料及び賃借料・補助金
【意見や要望】	【クラブこうしについて】 - 入会すれば、幾つもの種目が体験でき、異世代間の交流もできるとの意見もある。 - 自分の趣味やペースにあわせてスポーツができる。一方で多種目あるにも関わらず、1種目のみに参加に留まる方もいる。 - 現在も自立支援の補助金に頼っている状態のため、財政的な自立を促している。 - 事務所の体制および事務局と各教室の連携を強化することで、総合型の建物の則った自立した団体へ改善を図っている。 - 一般利用者から、クラブが優先的に施設予約を取ることで、利用が制限されているとの声も挙がっている。 【ヴィーブルFUNクラブ】 - 熊本地震被災後に閉鎖していたヴィーブルの再開により、活動が本格化している。 - 熊本地震前には、参加申込が多く、入会待ちの方が多数いた。 - ヴィーブル再開までに熊本地震から約2年を渡し、講師や会員の環境の変化も考慮が必要である。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) 総合型地域スポーツクラブの補助金申請、交付業務、事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設)を提供した。		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務 ※クラブこうしのみ。 事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額軽減で提供する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金額	円	補助金削減による減
→ イ: 施設使用料減免額	円	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市総合型地域スポーツクラブ	→ ア: クラブ数	団体
→ イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、自主的かつ自律的に事務局が運営を行い、各教室において事故なく活動ができる。	→ ア: 事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合 %	
→ イ:		
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
総合型地域スポーツクラブが問題なく運営されているか示すために設定した。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア	円	763,000	763,000	763,000	763,000	687,000	687,000	687,000	611,000	
	イ	円	271,500	701,200	550,000	491,790	550,000	550,000	550,000	550,000	
② 対象指標	ア	団体	2	2	2	2	2	2	2	2	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	91	100	70	100	100	100	100	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	763	837	896	783	813	813	813	737
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	763	837	896	783	813	813	813	737
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	5	5	5	5	5
	延べ業務時間		時間	650	465	550	405	500	500	500	500
	(B)人件費計		千円	2,562	1,842	2,191	1,596	1,992	1,992	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,325	2,679	3,087	2,379	2,805	2,805	2,805	2,729	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 感染症拡大により、会員募集や教室開催ができず、各クラブの事業計画に影響があった。感染症の感染防止対策をとりながら教室を開催しているが、施設の利用制限もあり、達成できなかった。
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 感染症拡大の状況によるが、予定どおり事業実施が出来れば達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 教室の活動の活性化が見込め、事業としての新規教室の立上も進む見込みである。また、自立に向けた中期的な取り組みを進め、補助金等の減額に繋げていく。補助を受ける団体から、市民に向けたスポーツ振興や健康維持、交流の担い手としての成長が見込まれる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 本事業には、「クラブこうし」と「ヴィーブルFUNクラブ」の2つのスポーツクラブがあり、「ヴィーブルFUNクラブ」はトランポリンのみの競技で行なわれているということと、運営方法や会費等の問題もあり、現在は統合できない。また、類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 「クラブこうし」は平成30年度に設立15周年を迎え、自立支援の趣旨で行なう補助金の見直しを段階的に行なっている。財政面だけでなく、クラブとしての質や、総合型としての運営力を高め、クラブとしての自立を進めることで、補助金等の削減ができる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 事務局員は、総合型地域スポーツクラブで雇用する職員に加えて、市の担当課職員である。クラブの事務については、できるだけクラブの事務局員に任せるようにしており、市の職員はクラブの組織確立に向けた育成および連携に努めている。将来はクラブが完全自主運営できる体制を目指しているため、削減余地がある。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 多くの種目・教室数がある「クラブこうし」は、パンフレットを区長便で回覧を行なうほか、HPやSNS等を駆使し、積極的に情報発信を行い、受益機会を公平に与えている。予算の見直しや会費の値上げ等については協議を行っている。会費の値上げについては、事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 現時点での移行は難しいが、中長期的な段階を踏まえ、自主運営に移行でき得る団体の育成を図る。

3 評価結果の総括（CHECK）

体育施設復旧後、「クラブこうし」「ヴィーブルFUNクラブ」共に、会員を増やし発展している。今後も自立した運営になるよう、活動支援が必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<